

跡見学園女子大学、東京都助産師会、文京区、大塚警察署との共同開催 災害時における母子救護所の開設・運営訓練実施

日時：2016年9月27日（火）15：00～17：30頃（報道受付14：45～）
場所：跡見学園女子大学 文京キャンパス（東京都文京区大塚1-5-2）

跡見学園女子大学（文京キャンパス：東京都文京区大塚1-5-2/新座キャンパス：埼玉県新座市中野1-9-6）は、東京都助産師会、文京区、大塚警察署と共同で9月27日（火）15時00分より本学文京キャンパスにて、首都直下型地震などの災害時における妊産婦・乳幼児の受け入れを想定した母子救護所の開設から運営の訓練を行います。本年は初の試みとして、文京区在住の妊産婦約2000名にも本件の情報をご案内し、訓練への参加を促します。

本学では、東日本大震災以降、災害対策を強化しており災害時の学生の安全安心の確保とともに、地域住民のサポートに取り組んでいます。2012年9月に全国初の取組みとして、災害時に妊産婦・乳幼児の受け入れを想定しキャンパスの一部を救護所として提供する「災害時における母子救護所の提供に関する協定」を文京区と締結。2013年9月からは毎年、学内に母子救護所を開設する訓練を実施しています。この訓練は女子大学の強みを活かし、災害時に助けが必要となる妊産婦・乳幼児への支援体制の確立を図ること、これにより学生の学びの場としても活用することを目的としています。



＜昨年開催時の様子＞
スタッフ役の学生と妊産婦役の学生に分かれ、訓練を実施しました。

当日の流れは、文京区防災課より本学宛に災害用ダイヤルにて依頼を受け、キャンパス内に母子救護所を開設。受付ブースを設置し、スタッフ役の学生が来場した妊産婦のリスト作成を行い、救護所へ案内・誘導します。その後、東京助産師会の指導のもと、災害状況などに応じた妊産婦の避難の仕方について、グループ単位でイメージトレーニングを行います。さらに、学生自身が妊産婦の大変さを理解すべく、約3kgある妊婦ジャケットを着用して妊婦体験をします。最後に振り返りと講評、妊産婦への配慮の心得などを学びます。また、文京キャンパスから徒歩8分に立地している学生寮「メゾン音羽」でも14時より避難訓練を実施し、終了後に母子救護所開設訓練に参加します。学生は普段接する機会の少ない妊産婦の方々との訓練を通し、妊産婦の心理に寄り添った接し方やサポート体制を学びます。併せて、展示ブースを設けて救護に必要な備蓄品の展示を行います。

本学は地域との取組みを通じて学生に学びの場を提供し、教職員、学生が一丸となって地域と連携し、今後とも社会貢献に努めてまいります。

母子救護所の開設・運営訓練実施概要

- ◆実施日: 2016年9月27日(火) 15:00~17:30 報道受付: 14:45~
- ◆実施場所: 跡見学園女子大学 文京キャンパス2号館3階(東京都文京区大塚1-5-2)
- ◆実施内容: 発災時の対応、妊産婦の様々な状況を想定する中で、女性としての本来知っておくべき知識を学ぶ。
- ◆当日参加者: 東京都助産師会、東京都助産師会館、文京区、大塚警察署
跡見学園女子大学 地域交流センター、学生(寮生、災害ボランティア学生) ほか
- ◆見学者: 区内の妊産婦(一部参加)ほか
- ◆タイムスケジュール

時間	内容	場所
14:45	メディア受付	1号館前
15:00	学生集合 受付の準備、備蓄品の確認、妊婦ジャケットの準備、 妊婦体験(妊婦ジャケットの着用、赤ちゃん人形)	2号館1階 ブロッサムホール前
15:15	訓練概要打ち合わせ 備蓄品展示・確認	
15:30	文京区防災課より、母子救護所の開設依頼連絡を受電 (災害用ダイヤル)	2号館2階 中央管理室
15:30	母子救護所開設(開設から運営を実施) 受付ブースを設置(見学者: 受付→施設見学)	2号館1階 ブロッサムホール前
16:00	避難所を想定したイメージトレーニングの実施	2号館3階 M2304教室
17:00	東京助産師会より振り返りと講評及び女性教育 大塚警察による講話	
17:30	終了	

<参考情報>

文京区との「災害時における母子救護所の提供に関する協定」の概要(2012年9月7日)

災害時、優先的にサポートが必要となる妊産婦及び乳児を守るため、文京区の支援体制「災害時おなかの中の赤ちゃんを守るプロジェクト」の一環として、文京区の地域防災計画に基づき、本学が施設の一部(文京キャンパス2号館3階全フロア・約1,400平米)を母子救護所として提供。

このような自治体と大学の協力による、地域防災計画の中での妊産婦や乳児サポートのための母子救護所設置に関する取り組みは初めてであり、本学では150名程度の受け入れ体制を整えています。母子救護所では机や椅子を移動して広いスペースを確保し、小さな講義室などには医師や助産師が控え、妊産婦の不安を払拭するための相談室も設置します。

また、本学と文京区は協定締結以来、防災行政無線受信機の設置、無線LANの設置、文京区・大学間の双方向通信機器の設置、区役所から大学までの徒歩所要時間の計測など、災害時に備えた取り組みを進めています。